

静岡県月例経済報告

(令和元年8月号)

……令和元年6月を中心とした県内経済のすがた……

No. 520

—静岡県経済産業部—

目 次

| | |
|------------------------|----|
| I 静岡県経済の概況 | 1 |
| II 静岡県主要経済指標の概況 | 4 |
| ・需要面 | 4 |
| ・生産面 | 12 |
| ・雇用面 | 14 |
| ・その他 | 17 |
| III 静岡県主要産業の動向 | 21 |
| IV データからみた県内主要産業 | 24 |

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和元年6月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概 況

令和元年6月を中心とした静岡県の景気は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。

先行きについては、意欲的な設備投資計画などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、輸出、生産の回復状況と海外の政治経済情勢に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、増勢が一服している。
- ・ 生産は、増勢が鈍化している。

需 要 面

「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額(6月)は、百貨店が10か月連続、スーパーが3か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも3か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(6月)は、ホームセンターが2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家電大型専門店が5か月連続、コンビニエンスストアが8か月連続、ドラッグストアが28か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも13か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(6月)は、軽自動車が3か月連続で前年実績を上回ったものの、乗用車が3か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総数でも3か月ぶりに前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数(6月)は、持家が10か月連続、貸家が3か月ぶり、分譲住宅が4か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を上回った。

「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(6月)は、3か月連続で前年実績を上回った。

「設備投資は、増加の動きがみられる」

日銀短観(令和元年7月1日)の令和元年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(6月)は、3か月ぶりに前年実績を上回った。

「輸出は、増勢が一服している」

「輸入は、前年を下回った」

輸出総額（6月）は、原動機が2か月連続、科学光学機器が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、エアコン、二輪自動車類がいずれも4か月連続、自動車、自動車の部分品がいずれも3か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも3か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額（6月）は、パルプが5か月ぶり、原動機が3か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品が3か月ぶり、木材が4か月ぶり、紙類及び同製品が2か月連続、自動車の部分品が3か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、895億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、増勢が鈍化している」

鉱工業生産指数（5月）は、輸送機械が4か月連続、化学が5か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品が3か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が10か月連続、電気機械が17か月連続、食料品・たばこが3か月連続で前年水準を上回ったことから、総合でも2か月連続で前年水準を上回った。また、前月比は2か月ぶりに上昇した。

なお、鉱工業在庫指数（5月）は、総合では10か月ぶりに前年水準を下回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きを続けている」

有効求人倍率（6月）は1.56倍で、前月と同水準だった。また、65か月連続で1倍を上回った。なお、3か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員（6月）は、2か月ぶりに前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数（5月）は、4か月連続で前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高、信用保証金額のいずれも前年を下回った」

県内金融機関の貸出残高（6月）は、前年同月比 2.4%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額（6月）は、前年同月比 19.8%減と前年実績を下回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を上回った」

企業倒産（7月）は、件数は29件（前年同月比 81.2%増）、負債総額は39億1,100万円（同 86.3%増）といずれも前年実績を上回った。

<トピックス> サロン・ド・サケ ～県産日本酒海外販路開拓の取組～

1 要旨

国内の清酒の販売数量（全国）は、6年連続で減少（6年前と比べて86%減少）しており、国内市場は縮小傾向にあります。一方、清酒の輸出量（全国）は、9年連続で増加（9年前と比べて215%増加）しており、過去最高を更新しています。清酒の海外需要が高まるなか、「ふじのくにマーケティング戦略2019」において日本酒を海外戦略に追加し、県内酒造の輸出拡大を支援しています。

2 具体的な取組

2019年2月に日EU・EPAが発行され、日本酒の関税が撤廃されたことを受け、今年は欧州向け、特に美食の国として発信力が強いフランスへの輸出を強化しています。

(1) ジャポニスム2018（2018年11月）

「SPAC」パリ公演に合わせて日本酒をPR。県内2酒造が参加し、好評を得た。

(2) 海外バイヤーとの直接面談（2019年7月）

JETRO主催の「食品輸出商談会（EU/TPP11）in 静岡」に県内2酒造が参加し、好評を得た。

参加バイヤー：5社（フランス、チェコ、ドイツ、イタリア、ペレー）

(3) サロン・ド・サケ2019へ静岡ブースを初出展（2019年10月5日～7日）

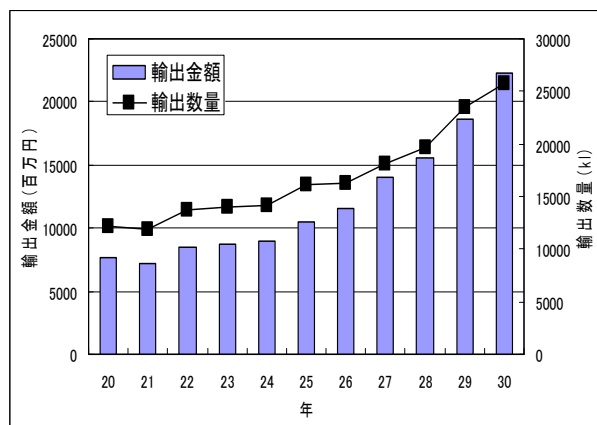
世界40か国以上から約5,000人が来場予定であり、500種類以上の日本酒が出品される欧州最大級の日本酒イベント「サロン・ド・サケ2019」（パリ市内で開催）へ静岡ブースを初出展し、県内7酒造が参加予定。

(4) その他

これまでの商談などで関心が高かったパリ市内のバイヤーやレストランを個別訪問商談、現地フランスのレストランで日本酒を提供など

3 今後の方向性

これまでの取組から県内酒造が海外への販路開拓に強い関心があることがうかがわれた。海外展示会への出展、海外バイヤーとの継続的な商談など、海外販路開拓へ意欲的な酒造をさらに支援していく。



日本酒の輸出金額と輸出量の推移（全国）



サロン・ド・サケ2018の様子

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

6 月 = 33,195百万円

*前年同月比： 2.0%減

(県内3百貨店、135スーパー合計)

<概況>

6月の大型小売店販売額は33,195百万円で、前年同月比2.0%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比5.4%減）が10か月連続、スーパー（同1.2%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、家庭用品（同2.9%増）が3か月ぶりに前年実績を上回ったものの、衣料品（同2.2%減）が3か月連続、身の回り品（同4.4%減）が6か月連続、飲食料品（同1.4%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.5%減と、3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

| | 30年11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|---------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 販売額(百万円) | 33,659 | 43,100 | 34,284 | 29,545 | 34,354 | 31,906 | 32,493 | 33,195 |
| 前年同月比(%) | ▲2.3 | 0.6 | ▲6.5 | ▲4.5 | 1.7 | ▲2.0 | ▲2.4 | ▲2.0 |
| うち百貨店(%) | ▲1.4 | ▲2.8 | ▲3.5 | ▲0.9 | ▲1.1 | ▲3.3 | ▲8.6 | ▲5.4 |
| スーパー(%) | ▲2.6 | 1.6 | ▲7.3 | ▲5.3 | 2.4 | ▲1.7 | ▲0.9 | ▲1.2 |
| (参考1)全国前年同月比(%) | ▲2.1 | ▲1.0 | ▲3.3 | ▲1.8 | 0.6 | ▲1.8 | ▲0.5 | ▲0.5 |
| うち百貨店(%) | ▲1.1 | ▲1.3 | ▲3.3 | ▲0.1 | ▲0.2 | ▲1.5 | ▲1.1 | ▲1.2 |
| スーパー(%) | ▲2.6 | ▲0.8 | ▲3.4 | ▲2.7 | 1.0 | ▲1.9 | ▲0.2 | ▲0.1 |
| (参考2)県前年同月比(店舗数調整前) | ▲1.2 | 1.3 | ▲5.8 | ▲4.1 | 3.1 | ▲1.0 | ▲1.4 | ▲0.5 |

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

| | 30年11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|-------------|--------|------|-------|------|------|------|-------|------|
| 衣料品 | ▲5.8 | ▲2.1 | ▲6.7 | ▲7.2 | 0.8 | ▲7.3 | ▲2.4 | ▲2.2 |
| うち紳士服・洋品 | ▲7.0 | ▲1.6 | ▲9.7 | ▲9.9 | 4.7 | ▲6.8 | ▲0.1 | ▲3.4 |
| 婦人・子供服・洋品 | ▲4.4 | ▲1.8 | ▲4.6 | ▲7.0 | ▲0.4 | ▲7.7 | ▲2.5 | ▲2.0 |
| 身の回り品 | ▲1.9 | 6.4 | ▲4.5 | ▲0.9 | ▲1.3 | ▲8.2 | ▲6.7 | ▲4.4 |
| 飲食料品 | ▲0.6 | 1.5 | ▲6.1 | ▲4.2 | 2.1 | 0.3 | ▲1.7 | ▲1.4 |
| 家庭用品 | ▲9.0 | ▲4.8 | ▲15.0 | ▲8.9 | 6.4 | ▲2.4 | ▲2.5 | 2.9 |
| うち家庭用電気機械器具 | ▲6.7 | 0.7 | ▲1.5 | 1.4 | 14.6 | 12.2 | 16.0 | 17.6 |

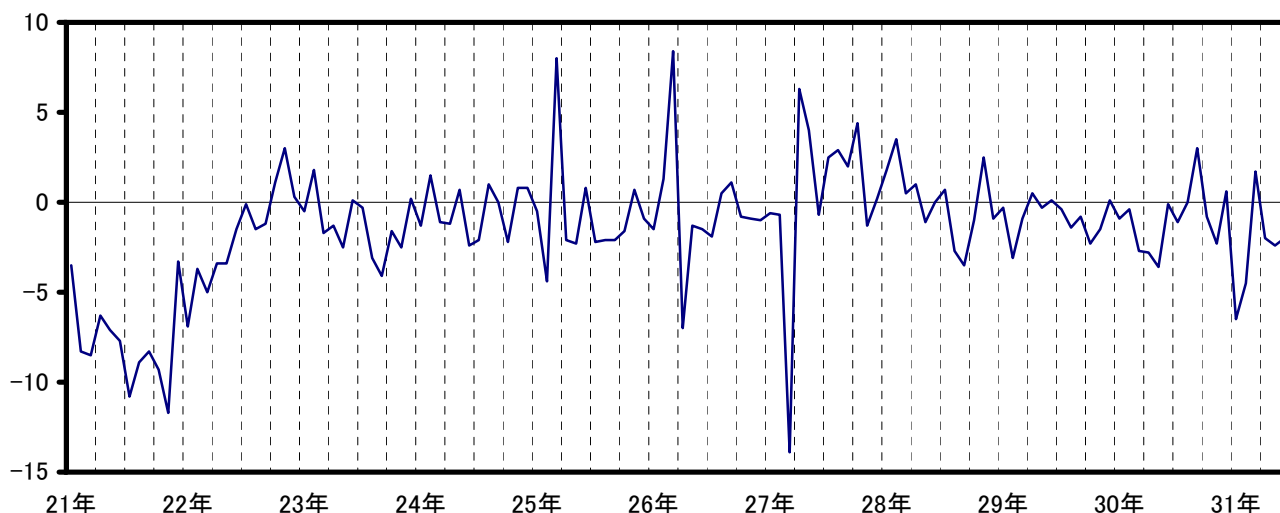
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

6月 = 68,690百万円

*前年同月比： 2.9%増

(県内87家電大型専門店、1,693コンビニエンスストア、496ドラッグストア、105ホームセンター合計)

<概況>

6月の専門量販店等販売額は68,690百万円で、前年同月比 2.9%増となり、13か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、ホームセンター（前年同月比 0.5%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同 8.4%増）が5か月連続、コンビニエンスストア（同 1.1%増）が8か月連続、ドラッグストア（同 4.6%増）が28か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

| | 30年11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 販売額(百万円) | 65,321 | 78,121 | 66,381 | 60,495 | 71,028 | 67,913 | 69,548 | 68,690 |
| 前年同月比(%) | 1.1 | 2.5 | 2.6 | 3.0 | 3.8 | 1.9 | 3.4 | 2.9 |
| うち 家電大型専門店(%) | ▲ 2.5 | 3.7 | ▲ 0.5 | 0.8 | 5.5 | 0.8 | 7.2 | 8.4 |
| コンビニエンスストア(%) | 0.8 | 2.1 | 1.9 | 2.8 | 0.9 | 2.0 | 2.1 | 1.1 |
| ドラッグストア(%) | 4.9 | 4.4 | 6.3 | 5.6 | 8.5 | 4.8 | 5.0 | 4.6 |
| ホームセンター(%) | ▲ 1.4 | 0.1 | ▲ 1.1 | ▲ 1.7 | 0.6 | ▲ 4.2 | 1.2 | ▲ 0.5 |
| (参考)全国前年同月比(%) | 1.2 | 3.0 | 2.2 | 2.7 | 3.0 | 1.6 | 4.3 | 3.1 |

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

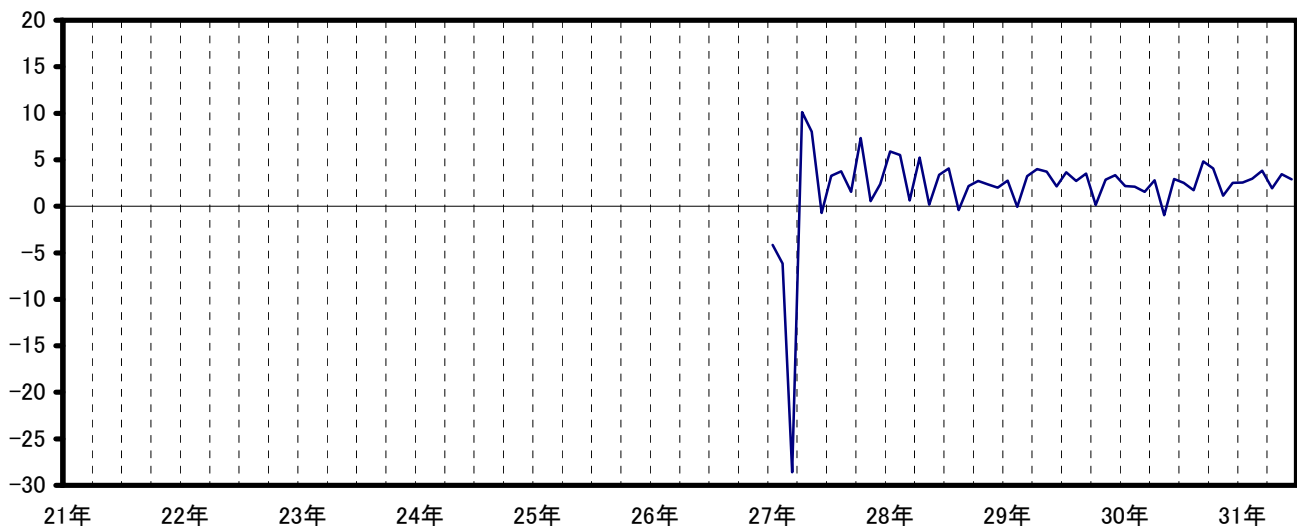
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(3) 自動車(新車)新規登録台数

6月 = 15,436 台

*前年同月比： 1.2%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

6月の自動車(新車)新規登録台数は15,436台(前年同月比 1.2%減)と、3か月ぶりに前年実績を下回った。

車種別にみると、軽自動車(前年同月比 4.0%増)と3か月連続で前年実績を上回ったものの、乗用車(同 5.3%減)が3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

| | 30年11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 登録台数(台) | 14,723 | 13,208 | 15,664 | 17,761 | 22,140 | 12,617 | 13,456 | 15,436 |
| 前年同月比(%) | 9.6 | 1.2 | 2.0 | ▲0.7 | ▲4.6 | 6.2 | 9.1 | ▲1.2 |
| (参考)全国前年同月比(%) | 7.4 | ▲3.2 | 0.9 | ▲0.1 | ▲5.3 | 3.3 | 6.4 | ▲2.2 |

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

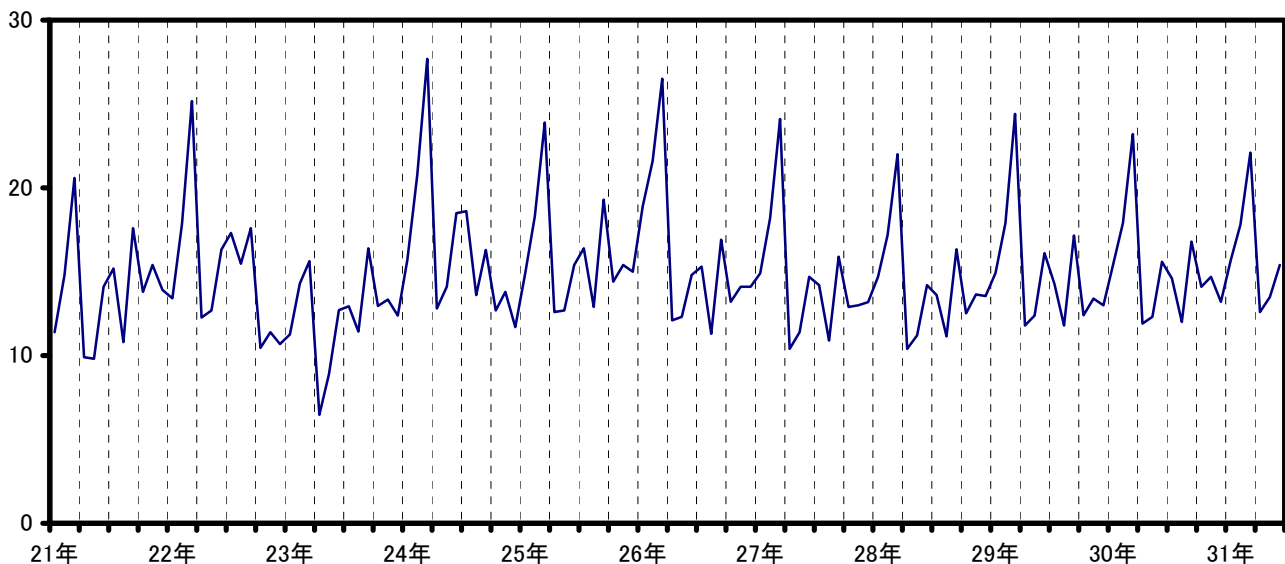
| | 30年11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|------|--------|------|-------|------|------|-----|-------|------|
| 全乗用車 | 9.6 | 1.2 | 2.0 | ▲0.7 | ▲4.6 | 6.2 | 9.1 | ▲1.2 |
| 乗用車 | 9.8 | ▲2.4 | 3.2 | ▲2.9 | ▲7.3 | 4.3 | 3.1 | ▲5.3 |
| 軽自動車 | 9.3 | 6.0 | 0.7 | 2.0 | ▲1.1 | 8.4 | 17.0 | 4.0 |

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

6月 = 2,349 戸

*前年同月比： 57.8%増

<概況>

6月の新設住宅着工戸数は2,349戸で、前年同月比 57.8%増と、2か月連続で前年実績を上回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 34.5%増）が10か月連続、貸家（同 96.6%増）が3か月ぶり、分譲住宅（同 74.7%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

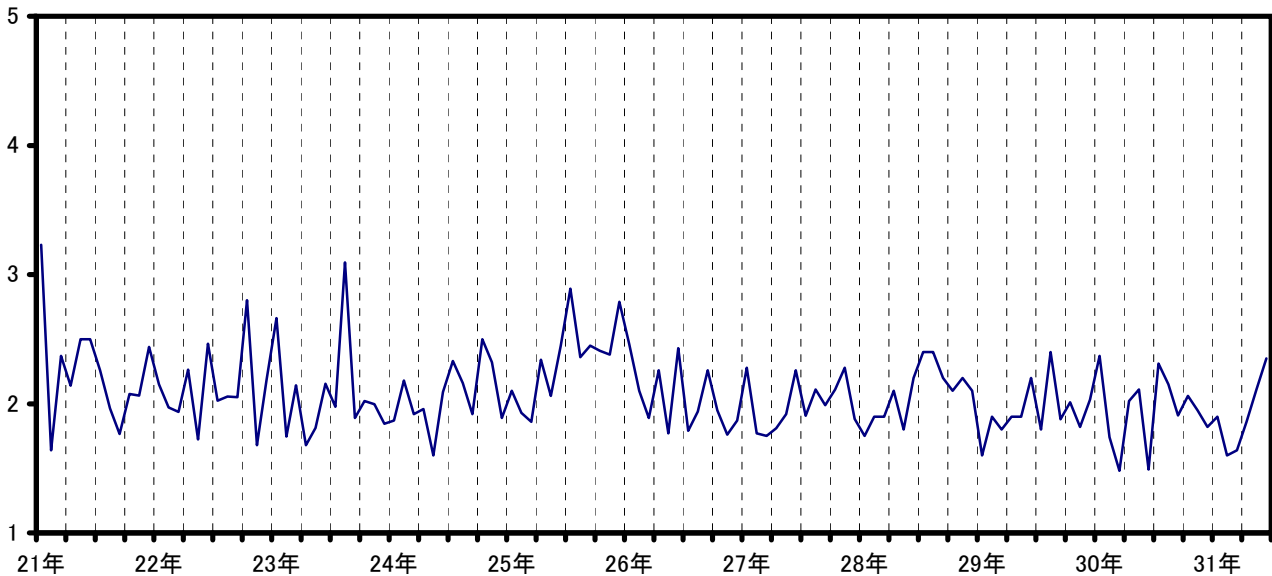
| | 30年11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|
| 戸数 (戸) | 1,950 | 1,821 | 1,897 | 1,603 | 1,642 | 1,855 | 2,110 | 2,349 |
| 前年同月比 (%) | 7.1 | ▲ 10.4 | ▲ 19.9 | ▲ 8.0 | 10.7 | ▲ 7.9 | 0.1 | 57.8 |
| うち持家 (%) | 3.7 | 2.7 | 1.9 | 7.7 | 8.6 | 0.1 | 11.0 | 34.5 |
| 貸家 (%) | 19.2 | ▲ 25.3 | ▲ 11.8 | ▲ 8.4 | 15.8 | ▲ 35.0 | ▲ 26.6 | 96.6 |
| 分譲住宅 (%) | ▲ 2.0 | ▲ 15.6 | ▲ 61.1 | ▲ 36.7 | 8.1 | 23.8 | 20.4 | 74.7 |
| (参考)全国前年同月比 (%) | ▲ 0.6 | 2.1 | 1.1 | 4.2 | 10.0 | ▲ 5.7 | ▲ 8.7 | 0.3 |

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

6月 = 41,211百万円

*前年同月比： 35.3%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

6月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は41,211百万円で、前年同月比 35.3%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は670件で、前年同月比 5.2%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

| | 30年11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|--------------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 金額(百万円) | 14,829 | 22,329 | 9,431 | 10,706 | 14,499 | 81,539 | 32,518 | 41,211 |
| 前年同月比(%) | 6.2 | 70.9 | ▲1.5 | 28.6 | ▲11.4 | 32.7 | 6.0 | 35.3 |
| 年度累計前年同月比(%) | 8.6 | 11.8 | 11.3 | 11.8 | 10.5 | 32.7 | 23.8 | 26.6 |
| 件数(件) | 690 | 719 | 315 | 166 | 268 | 559 | 573 | 670 |
| 前年同月比(%) | 3.4 | 3.6 | ▲14.6 | ▲10.3 | 37.4 | ▲4.6 | 1.6 | ▲5.2 |
| 年度累計前年同月比(%) | 3.5 | 3.5 | 2.6 | 2.3 | 3.2 | ▲4.6 | ▲1.6 | ▲3.0 |

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

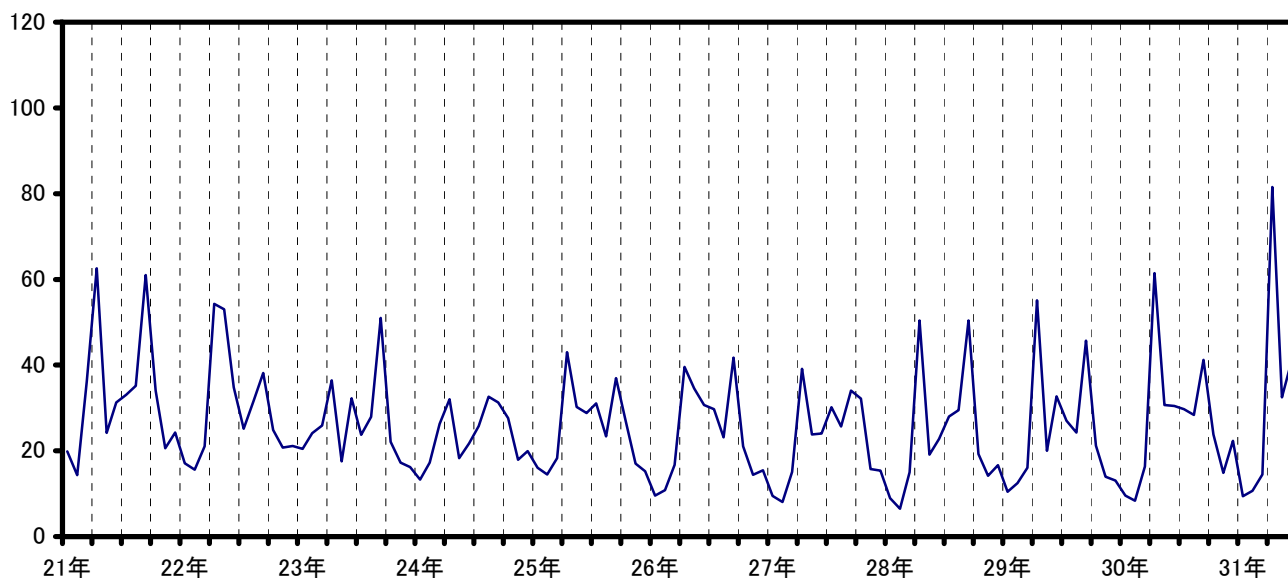
| | 30年11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|---------|--------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 国 | ▲29.2 | 8,054.0 | 130.2 | 58.0 | 43.6 | 64.0 | ▲61.3 | 1.0 |
| 独立行政法人等 | 164.3 | ▲4.1 | ▲4.8 | ▲21.9 | ▲79.9 | 53.4 | 206.6 | 162.1 |
| 県 | ▲12.1 | 18.4 | ▲62.0 | 35.0 | ▲49.5 | ▲14.7 | 16.6 | 22.6 |
| 市町 | ▲0.8 | 98.3 | 68.3 | 35.2 | 34.1 | 42.6 | 66.0 | 0.9 |
| 地方公社 | 467.9 | 912.0 | ▲98.3 | - | - | 2.1 | ▲94.4 | 974.1 |
| その他 | 440.5 | 511.2 | 14.7 | 19.1 | 647.0 | 34.2 | ▲56.3 | 308.9 |

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成30年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業で減少、非製造業で増加し、全産業で増加の計画となっている。ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加の計画となっている。

令和元年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 24.3%増）で増加、非製造業（同 2.8%減）で減少し、全産業（同 10.6%増）では増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 13.3%増）で増加、非製造業（同 0.5%減）で減少し、全産業（同 9.5%増）では増加する計画となっている。

6月の着工建築物床面積（非居住用）は162,872㎡で、前年同月比 19.7%増となり、3か月ぶりに前年実績を上回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

| | | 30年度 (実績) | R1年度 (計画) |
|------|----|----------------|----------------|
| 全産業 | 県 | (▲4.2) 5.7 | (0.3) 10.6 |
| | 全国 | (▲3.5) 6.6 | (1.7) 2.3 |
| 製造業 | 県 | (▲7.8) ▲2.1 | (▲0.6) 24.3 |
| | 全国 | (▲2.2) 8.6 | (3.2) 7.7 |
| 非製造業 | 県 | (▲0.3) 14.7 | (1.5) ▲2.8 |
| | 全国 | (▲4.2) 5.4 | (0.7) ▲0.8 |

（ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

| | | 30年度 (実績) | R1年度 (計画) |
|------|----|---------------|----------------|
| 全産業 | 県 | (▲3.7) 7.2 | (0.4) 9.5 |
| | 全国 | (▲3.6) 5.1 | (1.5) 5.7 |
| 製造業 | 県 | (▲5.1) 4.4 | (▲0.4) 13.3 |
| | 全国 | (▲2.4) 5.8 | (2.1) 6.7 |
| 非製造業 | 県 | (0.0) 15.3 | (2.8) ▲0.5 |
| | 全国 | (▲4.8) 4.4 | (0.8) 4.6 |

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和元年6月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和元年6月調査)」

<最近の動き>

| | 30年11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|-------------------|--------|---------|--------|---------|--------|--------|---------|---------|
| 着工建築物床面積（非居住用）（㎡） | 87,374 | 212,110 | 68,477 | 153,005 | 76,766 | 79,421 | 149,579 | 162,872 |
| 前年同月比（%） | ▲ 9.6 | 94.6 | ▲ 21.0 | 24.1 | 21.0 | ▲ 19.9 | ▲ 16.8 | 19.7 |
| (参考) 全国前年同月比（%） | ▲ 7.0 | 15.3 | 1.0 | ▲ 15.1 | ▲ 19.3 | ▲ 4.0 | ▲ 0.5 | 1.7 |

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

| | 31年3月 | R1年6月 | R1年9月 (予測) |
|-------------|-------|-------|---------------|
| 全産業 | 11 | 5 | 0 |
| 製造業 | 9 | 2 | ▲5 |
| 非製造業 | 13 | 9 | 6 |
| (参考) 全国・全産業 | 12 | 10 | 4 |

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和元年6月調査)」

5 輸出

6月 = 176,958百万円

*前年同月比： 8.4%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

6月の清水税関支署管内の輸出総額は176,958百万円で、前年同月比 8.4%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 14.8%増）が2か月連続、科学光学機器（同 19.4%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、エアコン（同 28.8%減）、二輪自動車類（同 16.0%減）がいずれも4か月連続、自動車（同 18.9%減）、自動車の部分品（同 17.4%減）がいずれも3か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、米国向け（前年同月比 2.1%増）が3か月連続、EU向け（同 6.8%増）が3か月ぶりに前年実績を上回ったものの、アジア向け（同 13.2%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

| | 30年11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 輸出総額(百万円) | 180,101 | 211,171 | 151,102 | 180,525 | 201,905 | 170,166 | 152,438 | 176,958 |
| 前年同月比(%) | 0.7 | 6.0 | ▲4.0 | 3.6 | 8.0 | ▲9.7 | ▲3.6 | ▲8.4 |

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

| | 30年11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|---------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 原動機 | 21.1 | 15.9 | ▲0.9 | 10.9 | 8.6 | ▲4.6 | 22.3 | 14.8 |
| エアコン | ▲8.1 | 16.6 | ▲5.0 | 30.4 | ▲13.5 | ▲16.0 | ▲7.8 | ▲28.8 |
| 自動車 | ▲11.6 | 10.0 | 165.9 | ▲13.5 | 77.2 | ▲38.3 | ▲27.5 | ▲18.9 |
| 自動車の部分品 | ▲9.6 | ▲4.9 | ▲13.2 | ▲7.6 | 0.8 | ▲13.0 | ▲13.0 | ▲17.4 |
| 二輪自動車類 | ▲7.8 | ▲0.5 | ▲8.6 | 2.7 | ▲15.7 | ▲31.8 | ▲13.2 | ▲16.0 |
| 科学光学機器 | ▲10.8 | ▲30.7 | ▲17.6 | 5.0 | 25.0 | 25.9 | 0.0 | 19.4 |

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

| | 30年11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|-----|--------|------|-------|-----|------|-------|-------|-------|
| アジア | ▲0.3 | ▲2.8 | ▲12.2 | 2.5 | 5.1 | ▲4.0 | ▲4.1 | ▲13.2 |
| 米国 | 11.0 | 2.4 | ▲4.3 | 8.1 | ▲0.1 | 3.4 | 3.9 | 2.1 |
| EU | ▲7.4 | 17.6 | 20.0 | 7.0 | 30.6 | ▲24.0 | ▲5.3 | 6.8 |

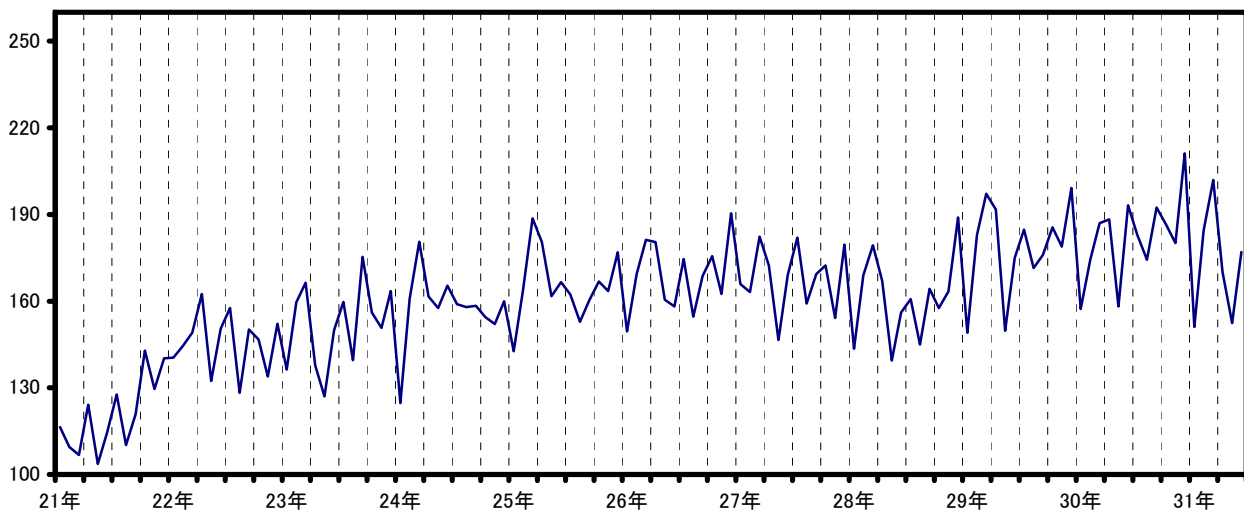
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

6 月 = 87,415百万円

*前年同月比： 0.5%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

6月の清水税関支署管内の輸入総額は87,415百万円で、前年同月比0.5%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、パルプ（前年同月比6.3%増）が5か月ぶり、原動機（同60.3%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品（同18.9%減）が3か月ぶり、木材（同3.0%減）が4か月ぶり、紙類及び同製品（同1.5%減）が2か月連続、自動車の部分品（同16.8%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（前年同月比0.9%増）が2か月ぶり、米国から（同51.3%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、EUから（同20.0%減）が3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

| | 30年11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|-----------|--------|---------|---------|--------|--------|---------|--------|--------|
| 輸入総額(百万円) | 97,059 | 100,856 | 104,381 | 77,463 | 90,871 | 101,284 | 95,915 | 87,415 |
| 前年同月比(%) | 8.3 | 13.1 | 16.2 | ▲9.1 | 15.3 | 8.0 | ▲2.4 | ▲0.5 |

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

| | 30年11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|-----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 魚介類及び同調製品 | ▲21.6 | 4.3 | ▲7.3 | 0.7 | ▲21.4 | 21.8 | 9.1 | ▲18.9 |
| 木材 | ▲26.4 | ▲12.0 | 8.7 | ▲26.3 | 2.1 | 1.6 | 19.4 | ▲3.0 |
| パルプ | 13.8 | ▲27.5 | 37.5 | ▲29.0 | ▲16.1 | ▲3.8 | ▲5.7 | 6.3 |
| 紙類及び同製品 | ▲18.6 | 8.8 | 37.1 | ▲11.0 | 9.7 | 17.9 | ▲2.2 | ▲1.5 |
| 原動機 | 53.9 | ▲1.2 | 87.9 | 36.4 | ▲10.4 | 45.7 | 10.0 | 60.3 |
| 自動車の部分品 | 44.4 | 61.6 | ▲6.0 | 6.8 | 2.7 | ▲14.0 | ▲11.9 | ▲16.8 |

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

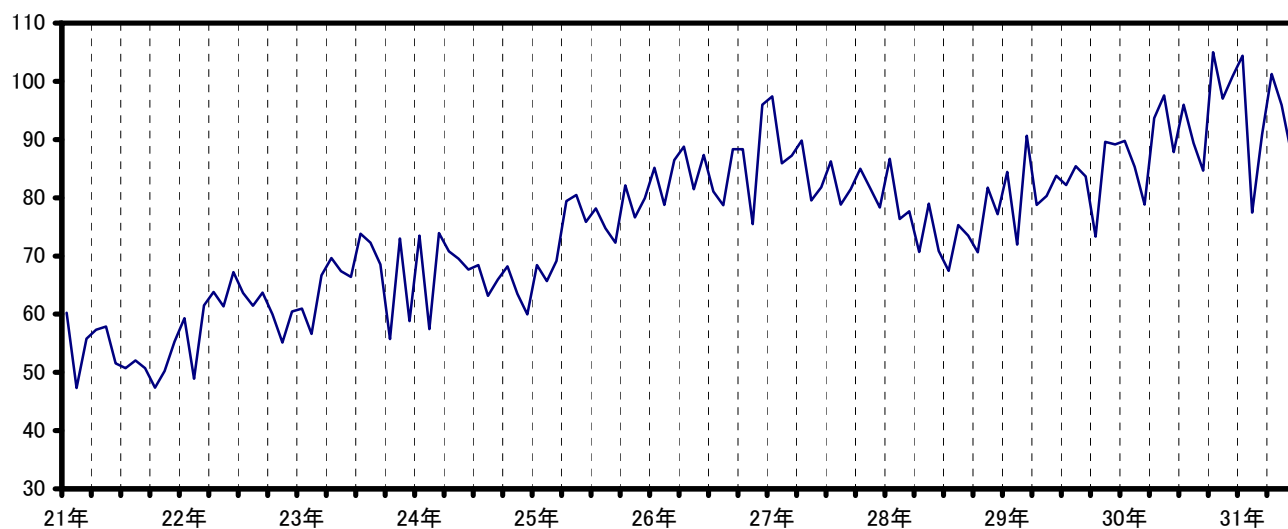
| | 30年11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|-----|--------|------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| アジア | 25.7 | 9.3 | 11.0 | 3.5 | 13.8 | 8.9 | ▲8.0 | 0.9 |
| 米国 | 2.4 | ▲2.8 | 16.4 | ▲27.1 | 22.5 | ▲20.4 | 13.9 | 51.3 |
| EU | ▲5.2 | ▲7.4 | ▲14.0 | 17.1 | ▲4.0 | 42.2 | 9.0 | ▲20.0 |

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

5月 = 103.4

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.2%増

*前年同月比(原指数) : 1.8%増

<概況>

5月の鉱工業生産指数(総合)は103.4(季節調整済指数)で、前月比0.2%増と、2か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は1.8%増と、2か月連続で前年水準を上回った。

業種別にみると、輸送機械(前年同月比4.4%減)が4か月連続、化学(同5.3%減)が5か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同6.0%減)が3か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同16.2%増)が10か月連続、電気機械(同4.5%増)が17か月連続、食料品・たばこ(同10.7%増)が3か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

| | 30年10月 | 11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 |
|----------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指数 | 109.0 | 107.7 | 107.1 | 104.0 | 101.1 | 105.6 | 103.2 | 103.4 |
| 前月比(%) | 1.3 | ▲1.2 | ▲0.6 | ▲2.9 | ▲2.8 | 4.5 | ▲2.3 | 0.2 |
| 前年同月比(%) | 4.2 | 5.2 | 2.1 | 4.6 | 0.5 | 0.0 | 3.3 | 1.8 |
| (参考)全国前年同月比(%) | 4.2 | 1.5 | ▲1.9 | 0.0 | ▲1.0 | ▲4.6 | ▲1.1 | ▲1.8 |

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

| | 30年10月 | 11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 |
|-----------------|--------|------|------|-------|------|------|------|-------|
| はん用・生産用・業務用機械工業 | 4.1 | 6.0 | 1.6 | 19.0 | 6.7 | 1.0 | 17.2 | 16.2 |
| 電気機械工業 | 22.7 | 11.3 | 6.8 | 13.2 | 13.9 | 1.2 | 1.3 | 4.5 |
| 輸送機械工業 | ▲0.4 | 2.1 | 0.7 | 0.0 | ▲5.6 | ▲3.9 | ▲1.3 | ▲4.4 |
| 化学工業 | 5.1 | 9.7 | ▲0.8 | 1.1 | 4.4 | 0.0 | 11.1 | ▲5.3 |
| パルプ・紙・紙加工品工業 | ▲0.1 | 2.6 | ▲3.3 | 0.1 | 1.0 | ▲2.4 | ▲2.6 | ▲6.0 |
| 食料品・たばこ工業 | 6.5 | 4.8 | 3.4 | 4.8 | ▲4.6 | 7.0 | 1.3 | 10.7 |

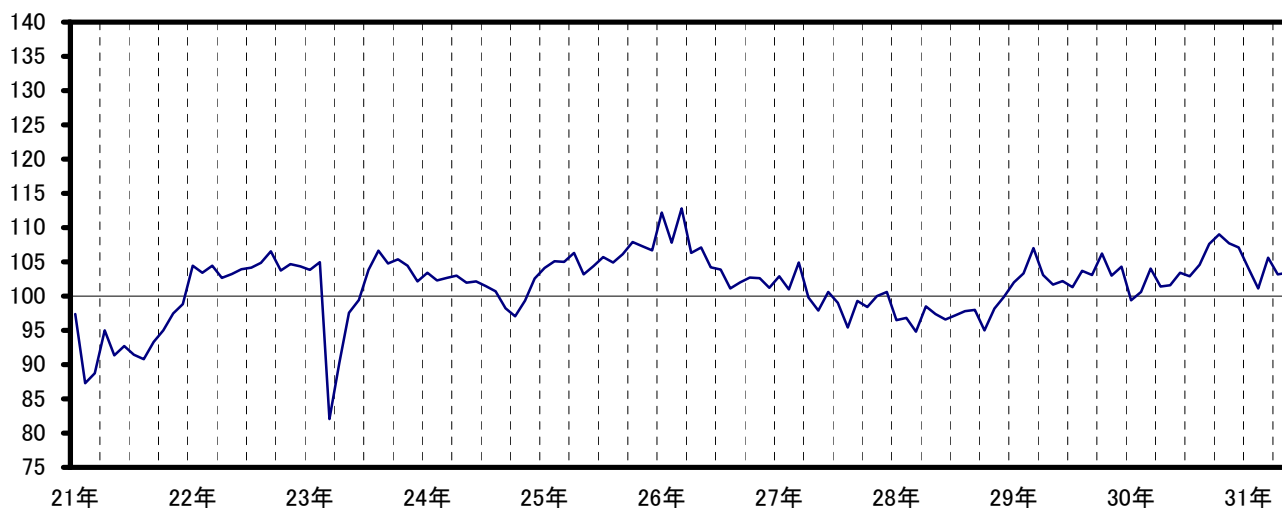
(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

5 月 = 106.4

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 4.5%減

*前年同月比(原指数) : 2.3%減

<概況>

5月の鋳工業在庫指数(総合)は106.4(季節調整済指数)で、前月比は4.5%減と、2か月連続で低下した。また、前年同月比(原指数)は2.3%減と、10か月ぶりに前年水準を下回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫積み上がり局面(景気後退初期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比 26.2%増)が5か月連続、電気機械(同 9.9%増)が2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同 1.3%増)が23か月ぶり、食料品・たばこ(同 4.3%増)が3か月連続で前年水準を上回ったものの、輸送機械(同 35.0%減)が5か月連続、化学(同 8.2%減)が26か月ぶりに前年水準を下回った。

<最近の動き>

| | 30年10月 | 11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 |
|----------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指数 | 111.0 | 108.5 | 114.1 | 108.8 | 108.1 | 114.8 | 111.4 | 106.4 |
| 前月比(%) | ▲ 5.0 | ▲ 2.3 | 5.2 | ▲ 4.6 | ▲ 0.6 | 6.2 | ▲ 3.0 | ▲ 4.5 |
| 前年同月比(%) | 1.5 | 1.9 | 9.9 | 4.8 | 0.2 | 2.1 | 3.2 | ▲ 2.3 |
| (参考)全国前年同月比(%) | ▲ 0.7 | 0.6 | 1.9 | 1.2 | 1.4 | 0.4 | 1.2 | 1.6 |

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

| | 30年10月 | 11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 |
|-----------------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| はん用・生産用・業務用機械工業 | ▲ 3.1 | 0.6 | ▲ 0.7 | 12.2 | 13.7 | 16.6 | 29.3 | 26.2 |
| 電気機械工業 | ▲ 6.2 | ▲ 7.8 | ▲ 3.8 | 4.4 | 1.0 | 0.3 | ▲ 0.3 | 9.9 |
| 輸送機械工業 | ▲ 9.0 | ▲ 9.0 | 0.8 | ▲ 25.1 | ▲ 41.4 | ▲ 38.2 | ▲ 32.4 | ▲ 35.0 |
| 化学工業 | 22.7 | 15.4 | 56.7 | 36.1 | 26.1 | 15.2 | 9.6 | ▲ 8.2 |
| パルプ・紙・紙加工品工業 | ▲ 8.4 | ▲ 7.2 | ▲ 11.1 | ▲ 6.7 | ▲ 4.0 | ▲ 1.5 | ▲ 3.1 | 1.3 |
| 食料品・たばこ工業 | 0.2 | 14.1 | 4.2 | 0.9 | ▲ 7.7 | 12.5 | 13.2 | 4.3 |

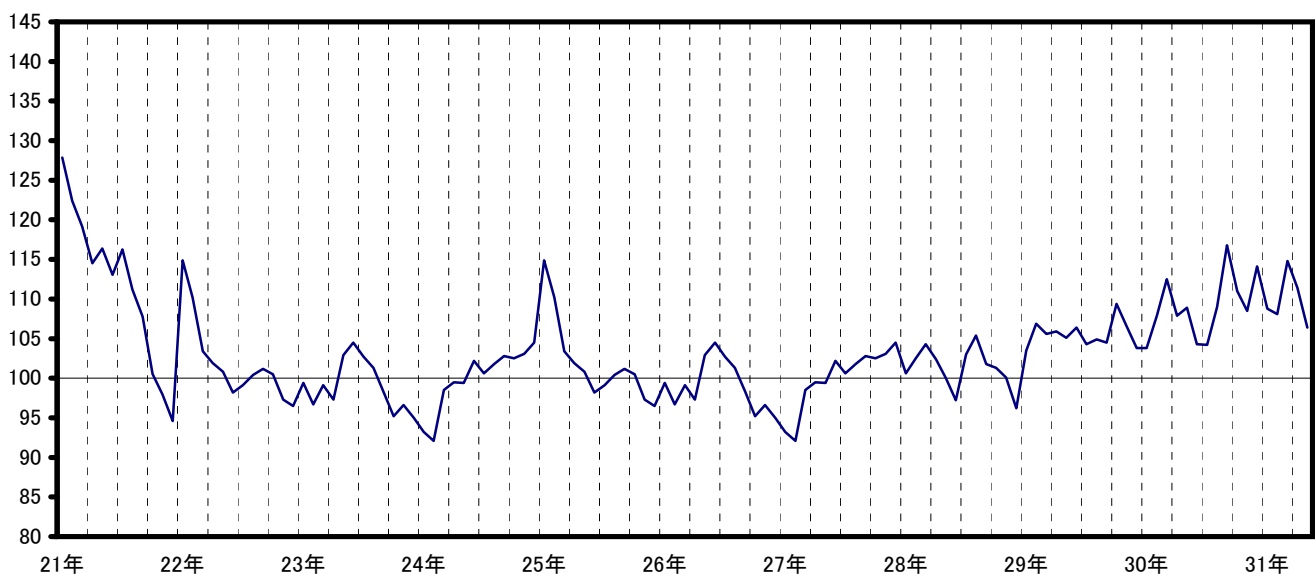
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

6 月 = 1.56倍

*前月比（季節調整値）： 同水準

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

6月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.56倍となり、前月と同水準だった。また、3か月連続で全国値を下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 4.7%減）は10か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、卸売業・小売業（前年同月比 4.7%増）が3か月ぶり、医療・福祉（同 3.8%増）が13か月ぶりに前年実績を上回ったものの、建設業（同 7.7%減）が4か月連続、製造業（同 11.2%減）が7か月連続、情報通信業（同 24.1%減）が10か月連続、運輸業・郵便業（同 3.8%減）、サービス業（他に分類されないもの）（同 11.8%減）がいずれも2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

| | 30年11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|-----|--------|------|-------|------|------|------|-------|------|
| 県 | 1.66 | 1.66 | 1.69 | 1.69 | 1.67 | 1.61 | 1.56 | 1.56 |
| 全 国 | 1.63 | 1.63 | 1.63 | 1.63 | 1.63 | 1.63 | 1.62 | 1.61 |

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

| | 30年11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|-------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 建 設 業 | ▲ 1.2 | ▲ 12.1 | ▲ 10.0 | 9.0 | ▲ 15.2 | ▲ 4.9 | ▲ 2.2 | ▲ 7.7 |
| 製 造 業 | 10.5 | ▲ 9.8 | ▲ 5.8 | ▲ 0.4 | ▲ 11.6 | ▲ 6.5 | ▲ 18.3 | ▲ 11.2 |
| 情 報 通 信 業 | ▲ 3.7 | ▲ 8.7 | ▲ 45.5 | ▲ 11.8 | ▲ 10.7 | ▲ 41.5 | ▲ 8.4 | ▲ 24.1 |
| 運 輸 業 ・ 郵 便 業 | 17.1 | ▲ 8.8 | 3.4 | ▲ 2.5 | 7.8 | 0.1 | ▲ 6.2 | ▲ 3.8 |
| 卸 売 業 ・ 小 売 業 | ▲ 14.1 | 19.3 | ▲ 11.1 | ▲ 11.9 | 7.2 | ▲ 25.4 | ▲ 16.2 | 4.7 |
| 医 療 ・ 福 祉 | ▲ 4.4 | ▲ 0.6 | ▲ 12.1 | ▲ 3.0 | ▲ 1.8 | ▲ 6.2 | ▲ 0.4 | 3.8 |
| サービス業（他に分類されないもの） | ▲ 1.4 | ▲ 26.1 | 11.4 | ▲ 13.0 | ▲ 15.3 | 1.7 | ▲ 29.8 | ▲ 11.8 |
| 合 計 | ▲ 0.2 | ▲ 6.9 | ▲ 3.1 | ▲ 2.3 | ▲ 6.6 | ▲ 5.8 | ▲ 12.1 | ▲ 4.7 |

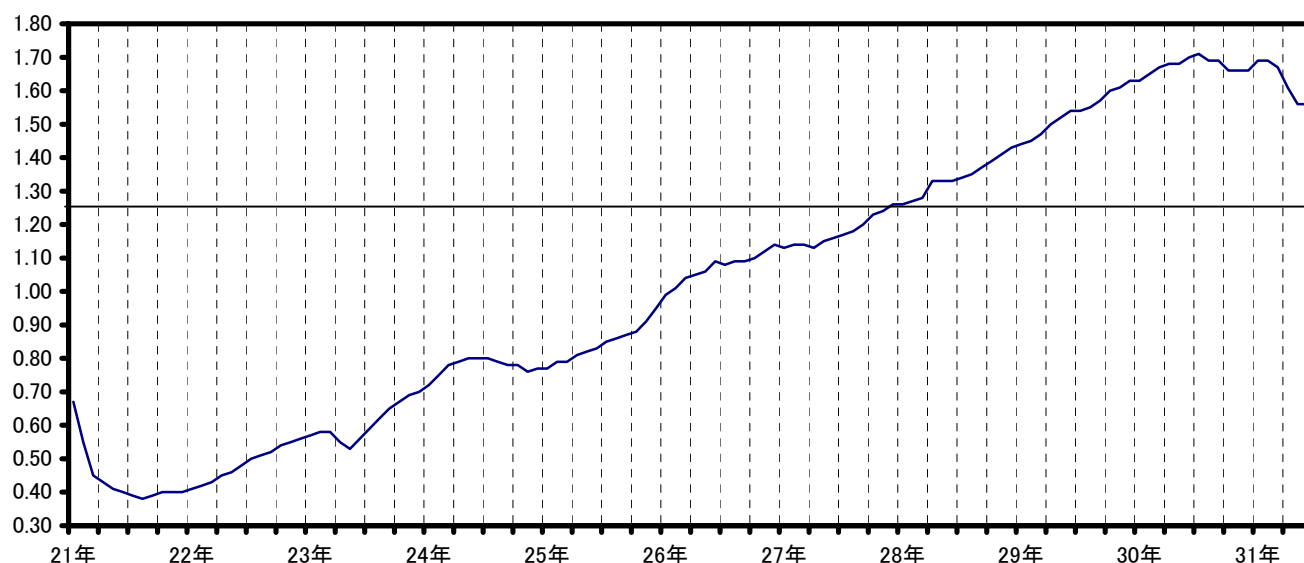
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

6月 = 10,637人

*前月比: 1.4%減

*前年同月比: 1.2%増

<概況>

6月の雇用保険受給者実人員は10,637人で、前月比は1.4%減と、3か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比は1.2%増と2か月ぶりに前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.3%で、前月から0.1ポイント改善した。

静岡県(平成31年1~3月)の完全失業率は1.7%で、前期(30年10~12月)から0.1ポイント改善した。

<最近の動き>

| | 30年11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|----------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 実人員(人) | 10,196 | 9,577 | 9,922 | 9,522 | 9,466 | 9,725 | 10,787 | 10,637 |
| 前月比(%) | ▲6.3 | ▲6.1 | 3.6 | ▲4.0 | ▲0.6 | 2.7 | 10.9 | ▲1.4 |
| 前年同月比(%) | ▲6.0 | ▲6.8 | ▲2.3 | ▲1.1 | 0.1 | 5.3 | ▲0.5 | 1.2 |
| (参考)全国前年同月比(%) | ▲1.0 | ▲0.7 | 1.4 | 1.8 | 0.8 | 6.6 | ▲0.3 | 2.1 |

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

| | 30年11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|--------------|--------|-----|-------|-----|-----|-----|-------|-----|
| 完全失業率(全国)(%) | 2.5 | 2.4 | 2.5 | 2.3 | 2.5 | 2.4 | 2.4 | 2.3 |

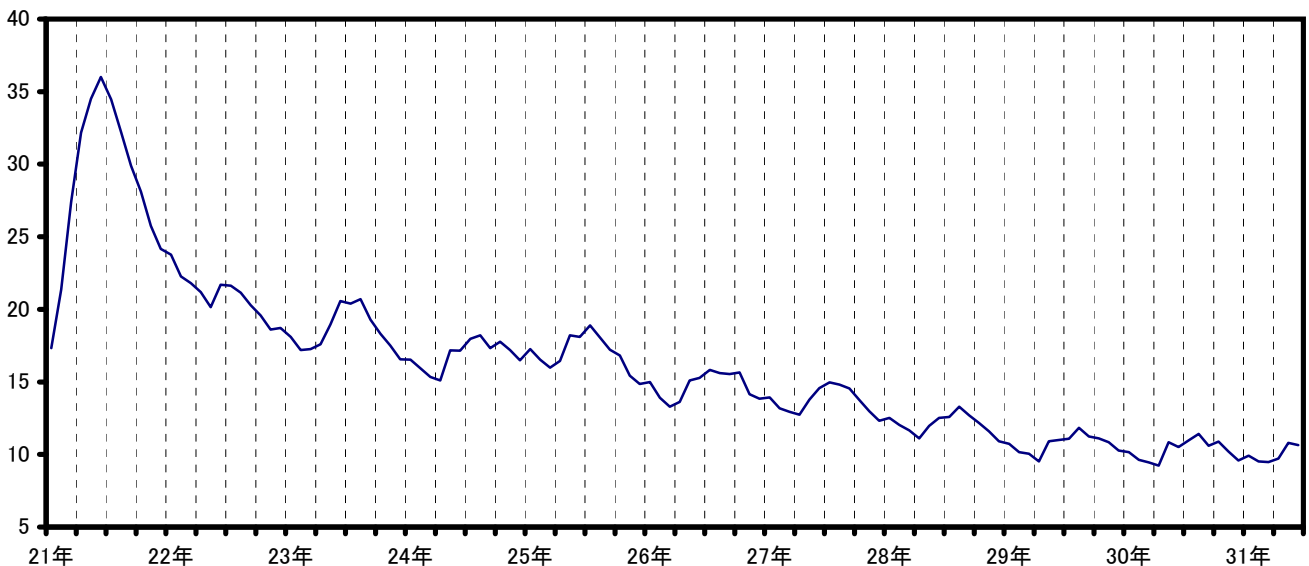
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

5月 = 88.0

*前月比(季節調整済指数): 4.8%減

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 8.9%減

<概況>

5月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は88.0(季節調整済指数)で、前月比4.8%減となった。また、前年同月比(原指数)は8.9%減と4か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、情報通信業(前年同月比20.3%増)が19か月連続、卸売業・小売業(同24.3%増)が7か月連続、医療・福祉(同35.5%増)が5か月連続、その他のサービス業(同21.7%増)が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、建設業(同69.9%減)が5か月ぶり、製造業(同9.8%減)が7か月連続、運輸業・郵便業(同5.5%減)が6か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

| | 30年10月 | 11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 |
|----------------|--------|------|------|-------|------|------|------|-------|
| 指数 | 96.4 | 97.3 | 91.5 | 95.1 | 95.2 | 92.9 | 92.4 | 88.0 |
| 前月比(%) | 5.8 | 0.9 | ▲6.0 | 3.9 | 0.1 | ▲2.4 | ▲0.5 | ▲4.8 |
| 前年同月比(%) | ▲7.3 | ▲7.7 | ▲8.7 | 2.4 | ▲0.7 | ▲1.6 | ▲1.5 | ▲8.9 |
| (参考)全国前年同月比(%) | 0.8 | ▲0.7 | ▲3.0 | 0.9 | 0.8 | ▲0.8 | 0.8 | 0.0 |

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

| | 30年10月 | 11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 |
|-----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 建設業 | ▲44.6 | ▲52.6 | ▲49.0 | 163.6 | 159.3 | 151.5 | 94.7 | ▲69.9 |
| 製造業 | 1.6 | ▲3.3 | ▲3.6 | ▲5.4 | ▲6.4 | ▲9.7 | ▲10.1 | ▲9.8 |
| 情報通信業 | 105.8 | 88.8 | 71.4 | 57.5 | 52.6 | 60.9 | 77.5 | 20.3 |
| 運輸業・郵便業 | ▲10.5 | 1.5 | ▲2.7 | ▲3.7 | ▲17.8 | ▲3.6 | ▲2.4 | ▲5.5 |
| 卸売業・小売業 | ▲2.6 | 21.0 | 11.7 | 11.6 | 15.7 | 4.3 | 3.6 | 24.3 |
| 医療・福祉 | ▲16.1 | 2.8 | ▲11.7 | 6.1 | 30.1 | 40.8 | 20.9 | 35.5 |
| その他のサービス業 | 7.4 | ▲2.4 | 4.2 | 20.8 | 11.0 | 15.6 | 0.0 | 21.7 |
| 調査産業計 | ▲7.3 | ▲7.7 | ▲8.7 | 2.4 | ▲0.7 | ▲1.6 | ▲1.5 | ▲8.9 |

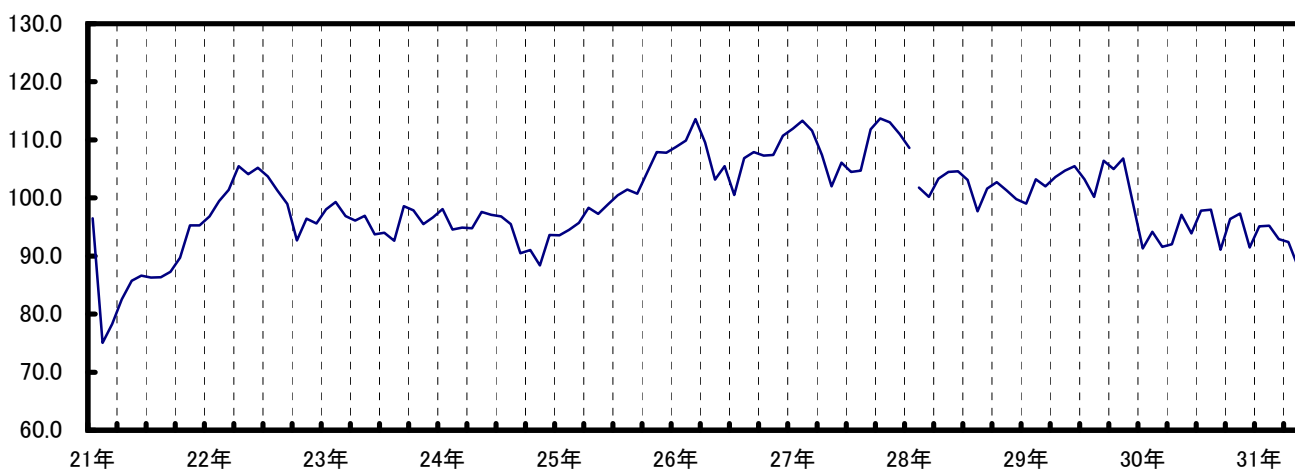
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

7 月 = 101.2

(平成27年=100)

*前 月 比: 同水準

*前年同月比: 0.6%下落

<概 況>

7月の国内企業物価指数は101.2となり、前月と同水準だった。また、前年同月比は0.6%の下落となった。

<最近の動き>

| | 30年12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 | 7月 |
|-----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 国内企業物価指数 | 101.4 | 100.9 | 101.2 | 101.5 | 101.8 | 101.7 | 101.2 | 101.2 |
| 前 月 比 (%) | ▲ 0.7 | ▲ 0.5 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | ▲ 0.1 | ▲ 0.5 | 0.0 |
| 前年同月比 (%) | 1.4 | 0.6 | 0.9 | 1.3 | 1.2 | 0.6 | ▲ 0.1 | ▲ 0.6 |

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

6 月 = 136,062億円

(銀行、信用金庫)

*前 月 比: 0.5%増

*前年同月比: 2.4%減

<概 況>

6月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は136,062億円で、前月比は0.5%の増加となった。また、前年同月比は2.4%の減少となった。

| | 30年11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 貸出残高(億円) | 137,406 | 138,841 | 137,565 | 137,331 | 138,361 | 136,078 | 135,374 | 136,062 |
| 前 月 比 (%) | 0.0 | 1.0 | ▲ 0.9 | ▲ 0.2 | 0.8 | ▲ 1.7 | ▲ 0.5 | 0.5 |
| 前年同月比 (%) | ▲ 1.6 | ▲ 1.9 | ▲ 1.5 | ▲ 1.5 | ▲ 1.6 | ▲ 2.2 | ▲ 2.4 | ▲ 2.4 |

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

6 月 = 1.813%

(県内地銀4行総平均)

*前 月 差: 0.020ポイント減

*前年同月差: 0.209ポイント減

<概 況>

6月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.813%で、前月から0.020ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.209ポイントのマイナスとなった。

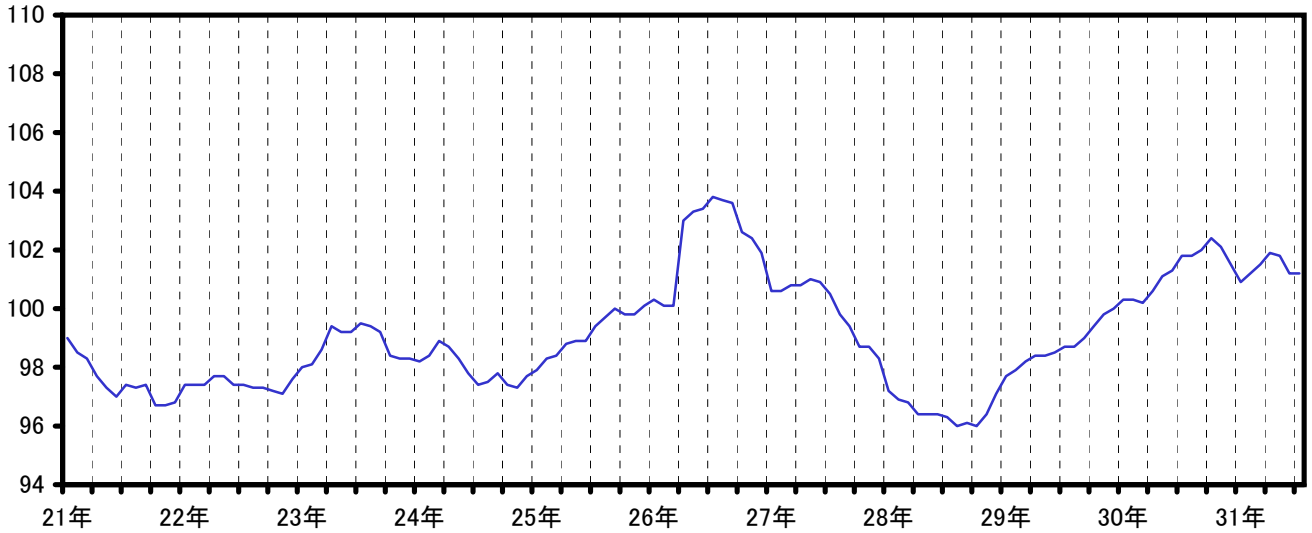
| | 30年11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 貸出約定金利(%) | 1.952 | 1.925 | 1.920 | 1.909 | 1.885 | 1.844 | 1.833 | 1.813 |
| 前月差(ポイント) | ▲ 0.018 | ▲ 0.027 | ▲ 0.005 | ▲ 0.011 | ▲ 0.024 | ▲ 0.041 | ▲ 0.011 | ▲ 0.020 |
| 前年同月差(ポイント) | ▲ 0.165 | ▲ 0.173 | ▲ 0.186 | ▲ 0.191 | ▲ 0.187 | ▲ 0.226 | ▲ 0.215 | ▲ 0.209 |

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

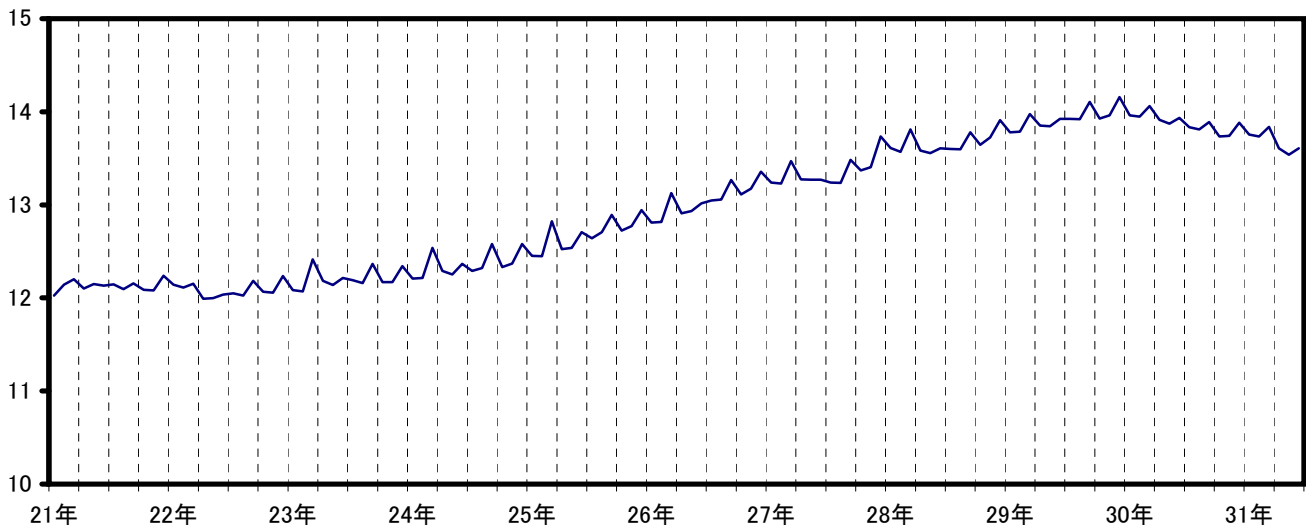
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



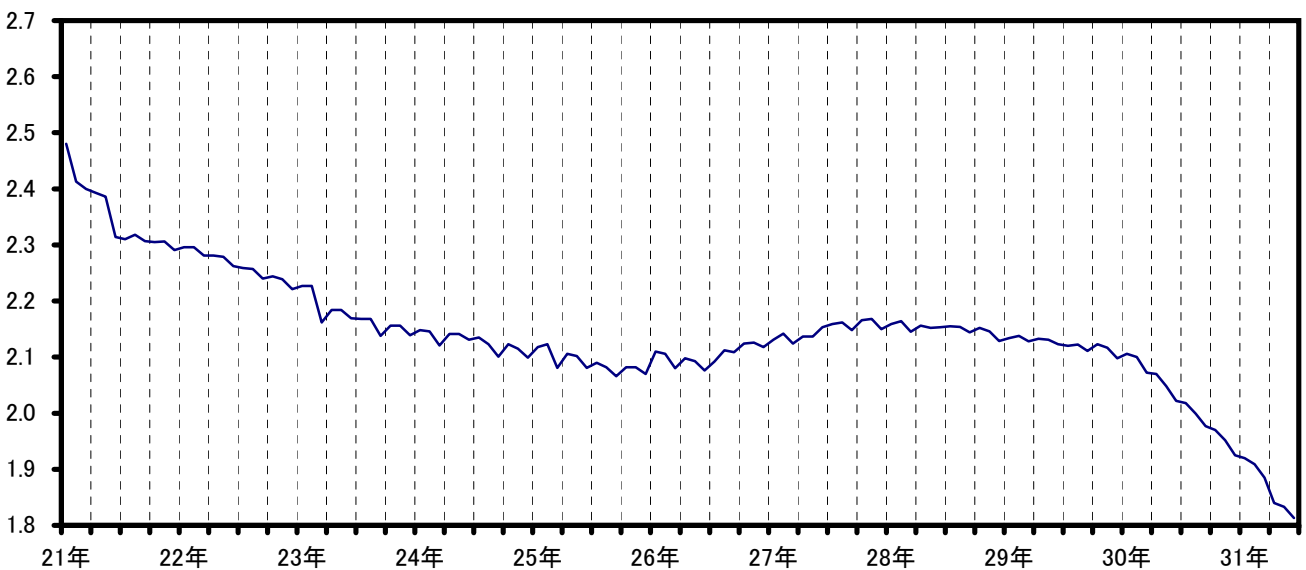
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**6 月 = 14,713百万円**

*前年同月比： 19.8%減

<概況>

6月の保証承諾は、金額は14,713百万円（前年同月比 19.8%減）、件数は1,545件（同 21.1%減）と、いずれも8か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

| | 30年11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 保証金額（百万円） | 17,768 | 19,565 | 12,720 | 16,016 | 19,263 | 11,215 | 12,821 | 14,713 |
| 前年同月比（%） | ▲ 12.0 | ▲ 16.3 | ▲ 6.7 | ▲ 7.5 | ▲ 20.2 | ▲ 7.2 | ▲ 28.7 | ▲ 19.8 |
| 保証件数（件） | 1,744 | 1,889 | 1,340 | 1,593 | 1,927 | 1,339 | 1,406 | 1,545 |
| 前年同月比（%） | ▲ 9.6 | ▲ 18.5 | ▲ 9.8 | ▲ 12.7 | ▲ 16.7 | ▲ 5.8 | ▲ 11.3 | ▲ 21.1 |

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**7 月 = 108.22円/ドル**

*前月差： 0.16円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 3.15円高

<概況>

7月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は108.22円で、前月と比べて0.16円の円安となり、3か月ぶりに円安となった。

<最近の動き>

| | 30年12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 | 7月 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 平均相場（円） | 112.45 | 108.95 | 110.36 | 111.21 | 111.66 | 109.83 | 108.06 | 108.22 |
| 前月差（円） | ▲ 0.92 | ▲ 3.50 | 1.41 | 0.85 | 0.45 | ▲ 1.83 | ▲ 1.77 | 0.16 |
| 前年同月差（円） | ▲ 0.52 | ▲ 1.82 | 2.54 | 1.52 | 4.23 | 0.14 | ▲ 1.97 | ▲ 3.15 |

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****7 月 = 29件**

*前年同月比： 81.2%増

<概況>

7月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は29件（前年同月比 81.2%増）と、前年同月比を上回り、負債総額は3,911百万円（同 86.3%増）と、前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が26件と全体の89.7%を占め、260か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

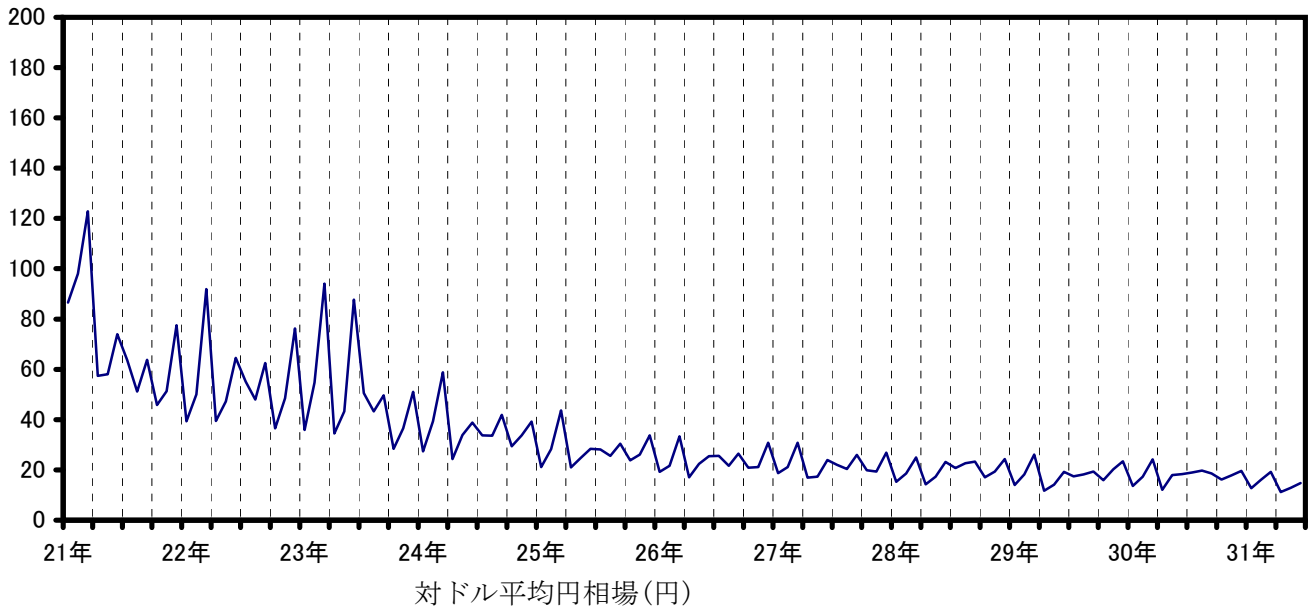
| | 30年12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 | 7月 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|
| 倒産件数（件） | 17 | 15 | 12 | 12 | 16 | 17 | 14 | 29 |
| 前年同月比（%） | 13.3 | ▲ 16.6 | ▲ 45.4 | ▲ 53.8 | 33.3 | ▲ 29.1 | ▲ 48.1 | 81.2 |
| うち不況型倒産件数（件） | 17 | 15 | 9 | 12 | 15 | 14 | 12 | 26 |
| 負債総額（百万円） | 2,489 | 1,235 | 1,495 | 4,320 | 2,457 | 1,847 | 3,193 | 3,911 |
| 前年同月比（%） | 98.3 | ▲ 47.8 | ▲ 44.3 | 40.9 | 16.2 | ▲ 39.7 | ▲ 40.2 | 86.3 |

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

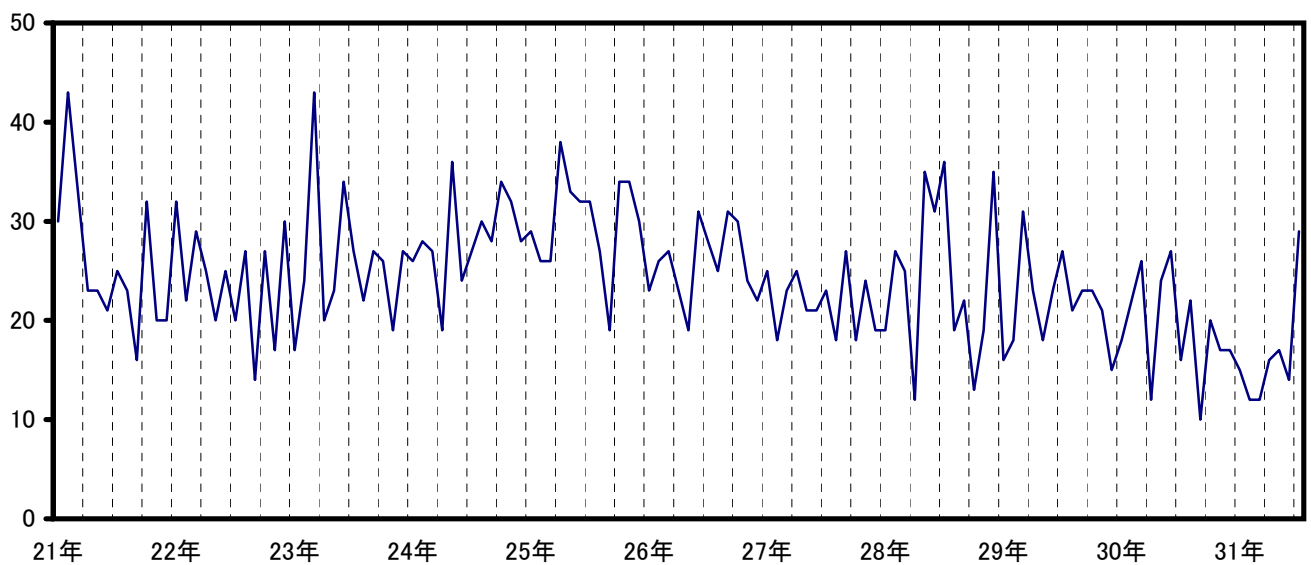
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和元年6月を中心とした静岡県主要産業の動向

| 業 種 | 産 業 動 向 |
|-------|---|
| 二 輪 車 | <p>5月の国内二輪車生産台数は、41,032台（前年同月比21.0%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、12,806台（同0.0%）で、前年と比較して横ばいだった。原付第二種（51cc～125cc）は、3,799台（同31.5%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、5,076台（同2.3%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、19,351台（同31.9%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、30,259台（同4.2%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。輸出向けは、22,823台（同20.9%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p> |
| 自 動 車 | <p>5月の自動車国内生産台数は、792,919台（前年同月比9.3%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。輸出は354,984台（同2.9%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車、トラックがいずれも2か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p> |
| 電気機械 | <p>6月の冷蔵庫の国内出荷額は529億円（前年同月比1.0%増）で、5か月連続で前年実績を上回り、国内出荷台数は413千台（同5.4%減）で、5か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>6月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,662千台（同6.0%増）で、17か月連続で前年実績を上回った。業務用は100千台（同19.1%増）で、9か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>6月の携帯電話の国内出荷台数は、1,440千台（同6.0%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、1,085千台（同2.3%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は75.3%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、JEITA/CIAJ</p> |
| 生産用機械 | <p>6月の工作機械の受注総額は、989億2,800万円（前年同月比37.9%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は612億2,800万円（同36.4%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが250億3,200万円（同44.4%減）で、13か月連続で前年実績を下回った。内需は377億円（同40.1%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、「メーカーの中国向け輸出の激減とキャンセルが続いている。」という声や「電気自動車関連の受注は好調に推移しているが、そのほかの機械設備は、米中貿易摩擦の影響から様子見の状況が強まっている。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p> |

| 業 種 | 産 業 動 向 |
|-------|---|
| 楽 器 | <p>6月の県内楽器メーカーの販売金額は、55億4,643万円（前年同月比 6.4%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。内訳は輸出向けが28億2,104万円（同10.5%増）で、国内向けが27億2,538万円（同 2.5%増）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,022台（同 2.5%増）だった。機種別では、アップライトピアノが1,996台（同 3.0%増）、グランドピアノが1,026台（同 1.5%増）だった。また、販売台数は、輸出向けが2,263台（同 1.1%増）、国内向けが1,244台（同22.9%増）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p> |
| 紙 | <p>6月の紙・板紙の国内出荷高は、1,911千ト（前年同月比 5.4%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は997千ト（同 5.8%減）で、25か月連続で前年実績を下回った。板紙は914千ト（同 5.0%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、547千ト（同 5.2%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、146千ト（同0.2%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p> |
| 缶詰・飲料 | <p>6月の県内生産量は、食缶類が国内向け946千箱（前年同月比 1.8%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は615千箱（同 7.8%減）と2か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は447千箱（同 9.6%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は331千箱（同11.9%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが8,279千箱（同12.0%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p> |
| 織 維 | <p>6月の広幅織物の県内生産は、1,163千㎡（前年同月比 1.1%減）で、9か月ぶりに前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,082千㎡（同 1.7%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、81千㎡（同 7.2%増）で、21か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、26千㎡（同 7.3%減）で、15か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p> |
| 家 具 | <p>6月の全国百貨店での家具販売額は、46億1,104万円（前年同月比 5.5%減）と2か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、574億2,373万円（同 1.6%増）と15か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p> |

| 業 種 | 産 業 動 向 |
|-------|--|
| 小 売 業 | <p>6月の県内百貨店・スーパーの販売額は、33,195百万円（既存店前年同月比2.0%減）と前年実績を下回った。品目別に見ると、家庭用品を除く全ての品目で前年同月の売上げを下回った。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、低気温や雨の影響で夏物の衣料品、身の回り品の売上げが伸び悩み、全体としての売上げが昨年同月を下回った。近年の流れとして、カジュアル化による紳士服（スーツ、ジャケット）の販売が落ち込んでいることと、中元文化の衰退が挙げられる。</p> <p>西部の食品スーパーへの聞き取りによると、精肉・鮮魚の売上げが前年同月を下回ったものの、催事を中心とする惣菜・弁当類が好調で、全体としては売上額・客単価が前年同月を上回った。クレジットカードによる支払いが増加しており、全体のおよそ2割を占める。</p> <p>東部の食品スーパーへの聞き取りによると、オーバーストアの傾向が強くなり、昨年末から売上げが右肩下がりであり、今月も昨年同月の売上げを下回った。特に周辺ドラッグストアとの競合は激しく、売上げ・来客数ともに伸び悩みが続いている。西部の聞き取り店舗とは対照的に、現金で決済した場合にポイントがつくポイントカードの利用率が上昇している。キャッシュレスに抵抗感を持つ高齢者に好んで使われるようである。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課</p> |
| 観 光 | <p>令和元年6月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約33万人で、前年同月比8.4%増だった。</p> <p>梅雨に入り、雨天の日が多かったため、富士サファリパークや浜名湖ガーデンパークは前年度に比べて入込客数が減少したが、県立美術館では展示企画が好評であり、全体として入込客数は前年度に比べて増加した。</p> <p>主要有料道路（5路線）の合計通行車両数は、約66万台となり、前年同月に比べて0.4%増だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p> |

= IVデータからみた県内主要産業 =

<二輪車>

| | 30年10月 | 11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 完成車生産台数(台) | 29,265 | 26,209 | 24,560 | 24,286 | 25,212 | 21,861 | 18,909 | 18,538 | 17,742 |
| 前年同月比(%) | 72.9 | 56.1 | 79.2 | 84.4 | 20.6 | 12.7 | 16.5 | 30.2 | 15.1 |
| KD輸出額(百万円) | 779 | 743 | 754 | 765 | 816 | 795 | 863 | 1,168 | 931 |
| 前年同月比(%) | 29.3 | 22.5 | 42.0 | 41.9 | 25.4 | 54.2 | 14.7 | 103.6 | 63.2 |

<楽器>

| | 30年10月 | 11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|-----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 生産総額(百万円) | 3,478 | 3,348 | 2,952 | 2,812 | 3,032 | 3,150 | 3,308 | 3,192 | 3,151 |
| 前年同月比(%) | 5.3 | 0.4 | ▲10.5 | 10.9 | 4.4 | 2.5 | 6.4 | 1.1 | ▲0.9 |

<缶詰>

| | 30年10月 | 11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|--------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 食缶生産高(千ケース) | 1,043 | 1,034 | 949 | 925 | 891 | 1,008 | 1,001 | 890 | 946 |
| 前年同月比(%) | 7.9 | 4.2 | 6.1 | 14.8 | 1.4 | 0.0 | 5.8 | ▲7.3 | ▲1.8 |
| うち水産缶詰(%) | 6.4 | 2.5 | 7.0 | 18.8 | 0.5 | 0.7 | 5.9 | ▲9.1 | ▲7.8 |
| 農畜産缶詰(%) | 11.3 | 8.5 | 4.2 | 5.3 | 3.3 | ▲1.2 | 5.5 | ▲3.2 | 11.9 |
| 飲料缶生産高(千ケース) | 6,884 | 7,005 | 6,135 | 4,650 | 5,548 | 7,730 | 7,745 | 8,036 | 8,279 |
| 前年同月比(%) | 15.8 | 10.4 | 11.3 | ▲0.9 | 6.8 | 11.2 | 12.7 | 0.1 | 12.0 |

<繊維>

| | 30年10月 | 11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 広幅織物(千㎡) | 1,495 | 1,718 | 1,639 | 1,532 | 1,392 | 1,358 | 1,278 | 1,206 | 1,163 |
| 前年同月比(%) | 0.1 | 2.4 | 3.1 | 1.1 | 4.4 | 2.0 | 0.4 | 2.6 | ▲1.1 |
| 小幅織物(千㎡) | 29 | 31 | 31 | 29 | 27 | 26 | 27 | 26 | 26 |
| 前年同月比(%) | ▲8.7 | ▲5.4 | ▲6.4 | ▲7.5 | ▲22.6 | ▲24.9 | ▲12.7 | ▲14.8 | ▲7.3 |

<観光>

| | 30年10月 | 11月 | 12月 | 31年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | R1年5月 | 6月 |
|----------------------|--------|-----|------|-------|-----|------|-----|-------|-----|
| 観光施設(10施設)入込 (千人) | 372 | 393 | 283 | 305 | 278 | 480 | 557 | 651 | 327 |
| 前年同月比(%) | 12.6 | 5.2 | 12.5 | 6.6 | 5.6 | ▲6.3 | 8.2 | 21.4 | 8.4 |
| 有料道路(5路線)通行量 (千台) | 724 | 738 | 730 | 675 | 667 | 780 | 719 | 760 | 659 |
| 前年同月比(%) | 8.1 | 0.4 | 0.7 | 5.6 | 6.8 | ▲0.3 | 2.8 | 5.7 | 0.4 |

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

| 需要面 | 生産面 | 雇用面 | その他 |
|--------------|----------|-------------|-------------|
| ・大型小売店販売額 | ・鉱工業生産指数 | ・有効求人倍率 | ・国内企業物価指数 |
| ・専門量販店等販売額 | ・鉱工業在庫指数 | ・雇用保険受給者実人員 | ・県内金融機関貸出残高 |
| ・自動車新規登録台数 | | ・完全失業率 | ・信用保証協会保証金額 |
| ・新設住宅着工戸数 | | ・所定外労働時間指数 | ・企業倒産件数 |
| ・清水税関支所管内輸出額 | | | |
| ・清水税関支所管内輸入額 | | | |

提供いただいている資料

| 資料名 | 提供元 | ホームページアドレス |
|----------|-------------|---|
| 公共工事請負金額 | 東日本建設業保証（株） | http://www.ejcs.co.jp/region/index.html |
| 設備投資 | 日本銀行静岡支店 | http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html |
| 貸出約定金利 | | |
| 国内企業物価指数 | 日本銀行 | http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm |
| 円相場 | | |

参考となる全国の資料等

| 資料名 | 提供元 | ホームページアドレス |
|-----------|-------|---|
| 鉱工業生産指数 | 経済産業省 | http://www.meti.go.jp/statistics/index.html |
| 大型小売店販売額 | | |
| 専門量販店等販売額 | | |
| 輸出入 | 財務省 | http://www.mof.go.jp/siryou.htm |
| 国際収支 | | |
| 機械受注 | 内閣府 | http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html |
| 完全失業率 | 厚生労働省 | http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html |
| 有効求人倍率 | | |

静岡県月例経済報告

令和元年8月号 通巻520号

発行 静岡県経済産業部
令和元年8月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>